



十中だより

令和4年4月8日発行
第1号
目黒区立第十中学校
校長 野口 芳一

【教育目標】自ら課題を追求し、主体的に生きる人間性豊かな生徒を育むために
自ら鍛える生徒、求めて学ぶ生徒、互いに認め合う生徒の育成を図る

〒152-0023 目黒区八雲 5-2-1 Tel 03(3718)6406 Fax03(3718)6144 <http://www.meguro.ed.jp/meguro10j/>

『互いに認め合う』

校長 野口 芳一

先月3月18日、第74回卒業式を無事に挙行することができました。130名の卒業生たちが、それぞれの道へ巣立っていきました。卒業証書授与の際、マスクを外し卒業生ひとり一人の顔を見ることができました。目を見て合い向かい合い、微笑む姿を見ることができて本当に嬉しく思いました。

4月7日入学式。139名の新入生を迎え、令和4年度の目黒区立第十中学校がスタートしました。元気あふれる頼もしい新入生たちです。まだまだ制限があるとは思いますが、十中の教育活動を、できる限り行っていきます。今年度もご理解とご協力を、よろしくお願い致します。

年度最初の号ということもあり、本校の「教育目標」を紹介します。それぞれの言葉の意味を載せましたので、自分にあてはめ、考えてみてください。そしてこれからの学校生活に活かしてください。

<目黒区立第十中学校 教育目標>

○自ら鍛える生徒

○求めて学ぶ生徒

○互いに認め合う生徒

○自ら鍛える生徒

自 ら＝「身つから」の音変化。自分。自分自身。人の力に頼らないで自分の力で行う様。
鍛える＝もともとは、鉄など金属を熱し、打って強くする。練習・修練を繰り返す、技術や身体・精神を
しっかりしたものにする。

○求めて学ぶ生徒

求める＝欲しいと望む。ほしがる。得ようとして探す。
学 ぶ＝勉強する。学問をする。教えを受けたり見習ったりして、知識や技芸を身につける。習得する。
経験をすることによって知る。まねをする。

○互いに認め合う生徒

互 い＝双方。さらに広く一団のもの、それぞれ。
認める＝目にとめる。存在を知覚する。気づく。見て、また考えて確かにそうだと判断する。正しいとして、またかまわないとして受け入れる。能力があると判断する。気をつけてみる。じっと見る。

今回は、3つめの『互いに認め合う』について考えてみたいと思います。世の中には様々な人がいます。あたりまえですが、全く同じ人間はいません。ということは、考え方や意見が違って当然です。そのような中で、「互いに認め合う」ことが大切になってきます。しかし、これはとても難しいことです。考えや意見が違う人を認める…ということは、なんとなく「自分が負ける」「自分が我慢する」というような感情になってしまいます。そんなとき、以下のようなことを心がけてみてはどうでしょうか。

○人を見るとき（関わる時）、敵だと身構えるのではなく、いい人だと思って接する。それだけで、相手に

伝わる空気感が変わる、相手がこちらを受け入れてくれる。そうすることによって味方が増えていく。
○他の人に対して意見を言う（表す）時には、“その人の心や立場を傷つけることもあるかもしれない”ということを、常に心にとどめておく。

○人と話をする時に、自分を主語にせず、相手（周りの人）を主語にする。

（例）おなかすいた⇒おなかすいてない？

いかがでしょうか。すなわちどれも『相手の気持ちになって、物事を考える』＝『思いやり』のことですね。自分の意見や主義、主張を発し、通すことも大切です。ただその際にちょっとだけ、相手の気持ちになって考えてみる。これだけで、楽しい学校生活や日常生活が送れるのではないのでしょうか。